



● 草の根パートナー型

平成18年度第2回 採択内定案件

| <b>I. 提案事業の概要</b>  |   |
|--------------------|---|
| 1. 国名              | ウズベキスタン共和国  |
| 2. 事業名             | タシケント市における地域に根ざした障害者支援事業  |
| 3. 事業の背景と必要性       | ウズベキスタンの首都タシケントには、国内全障害者82万人のうち12万人以上が居住しており、市の全人口に占める障害者の割合は約5%と高い。しかし、障害者が治療や訓練などのリハビリテーションを受けられる環境は整っておらず、社会参加も進んでいない。社会福祉担当行政機関、医療機関、教育機関など関係機関の連携も十分ではない。また、障害者と非障害者の接点が少なく地域での障害・障害者に対する理解が不十分であることにより、差別や偏見が根強く存在している。障害者が地域で必要なサービスにアクセスできる環境を整えると同時に、地域社会の障害理解を向上させ障害者が主体的に社会参加できるよう支援する必要がある。   |
| 4. 事業の目的           | タシケント市内の障害に関わる主要な関係機関により地域に根ざしたリハビリテーションが導入・促進され、10のマハラ地域で暮らす障害児がコミュニティで適切なサービスを受けられるようになる。   |
| 5. 対象地域            | タシケント市内の10のマハラ地域  |
| 6. 受益者層            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象とする10のマハラ地域に暮らす障害児200名とその介護者200名</li> <li>● CBRワーキング・グループへの参加メンバー10名、および地区のリーダー50名</li> <li>● コミュニティ療法士10名、およびコミュニティ・モビライザー20名</li> <li>● イベント参加者（障害・非障害者含む）2,500名</li> <li>● 啓発活動の対象となる地域住民45,000名</li> </ul>   |
| 7. 活動及び期待される成果     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. タシケント市内の障害者支援に関わる主要な関係機関（地方行政機関、障害当事者団体、医療機関、教育機関など）の代表者からなるCBRワーキング・グループとして組織し、CBRを導入するのに必要な連携を促進する。他の国や地域での経験も踏まえた上で地域に合ったCBRの方針・プログラム・実施方法・評価方法を含む戦略を策定し、ウズベキスタンへの効果的なCBR導入を促す。</li> <li>2. タシケント市内の10の地域共同体マハラで、CBRを導入し実践する。地域にCBR支援ポイントを整備した上で、コミュニティ療法士とモビライザーを特定し、彼らが障害者とその家族への日常生活訓練/介助技術指導/一人ひとりのニーズに合わせたリハビリテーション計画の策定と実践/早期の障害診断/必要なサービスへアクセスするための情報提供などを行う。</li> <li>3. これら10のマハラ地域の住民が障害や障害者の権利、またCBRについての理解を深めるよう、住民主体の啓発活動を展開する。地域社会でのセミナーの開催や、小冊子やリーフレットといったIEC（教育・広報活動）教材の作成・配布、障害者もそうでない者も共に参加する芸術・音楽・スポーツイベントの開催などを通じて、障害に対する差別や偏見を取り除き、CBRにおける地域社会の役割について住民の意識を改革していく。</li> </ol> <p>こうした総合的な活動により、障害者と家族が地域社会で適切な保健、治療、教育などの社会サービスにアクセスできるようになり、障害者の生活の質が向上することが期待される。</p> |
| 8. 実施期間            | 2008年5月～2010年4月（2年）   |
| 9. 事業費総額           | 49,997千円（予定）  |
| 10. 事業の実施体制        | ワールド・ビジョン・ジャパン本部事務局が、本事業を運営指揮し（海外事業部開発援助事業課）、事業会計を統括する（同部財務課）。日本人プロジェクト・マネージャーが、現地におけるプロジェクト全体を統括し現地スタッフ7名からなる事業チームを指揮する。本事業対象地ではワールド・ビジョンの自主事業が行われておりそのスタッフが事業運営を支援する。   |
| <b>II. 実施団体の概要</b> |   |
| 1. 団体名             | 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  |
| 2. 活動内容            | 開発途上国において、貧しく抑圧された人々の生活に変革をもたらすために、開発援助・緊急援助を行う。2005年度実績、36カ国100事業、プロジェクト費総額22億7,153万円。   |
| 3. 対象国との関係、協力実績    | <p>「タシケント市におけるハイリスクグループと若者に対するHIV/AIDS予防対策事業」（草の根技術協力事業（草の根パートナー型）および自己資金にて実施）</p> <p>「タシケント市内トラスト・ポイントのサービス拡充によるHIV/AIDS予防対策事業」（自己資金にて実施）</p> <p>「タシケント市における養護施設支援事業」（自己資金にて実施）</p>  |